

2018年12月16日 第236号 発行 嶋田住建

もっと住まいを快適に 住まいる通信

「住まいる通信」は、おかげさまで創刊から二十年を迎える事ができます。長い間読んでいただきありがとうございます。これからもお役にたつ情報をお届けいたします。今年もお世話になりました。ありがとうございます。



シリーズ リフォーム塾

これからの屋根塗装の注意点

住宅の屋根材は瓦とコロニアルが一般的です。今回はコロニアル塗装の注意点を話します。

コロニアルは平板スレートと言われているのですが、メンテナンスの方法で一般的なのは高圧洗浄+シーラー+塗装2回塗りです。

このコロニアルには以前は石綿が含まれていました。石綿を配合することにより、安価で粘り強い素材になります。この粘り強さを保つためにも塗替えが定期的に必要なのです。



この石綿は粉砕しなければ健康上問題はないのですが、九十年代から肺への健康被害が社会問題化され、二〇〇二年を最後に生産が中止されました。

その後は石綿含有の屋根材ではなく、化学繊維で強度を保つ方法に変わりました。以前のコロニアルと比べると重量が重くなり表面が硬くなっ

たように感じます。

この新しいコロニアル材の欠点は意外ともろいことです。新築時に釘を乱暴に打つと割れたり、重ね貼りした所に乗ると知らないうちに、下のコロニアルが割れてしまう事例が出ているそうです。

割れが出来ても、新築時はコロニアル表面の塗膜でかくれて確認できず、塗替え時の高圧洗浄で確認される例も出てきているそうです。これは将来の雨漏りの原因にもなります。無石綿になって十六年がたち、最近の物は耐久性はあがっているの心配ありませんが、無石綿化された直後数年のコロニアルは割れやすいようです。塗替えをされるお客様は事前に屋根の割れの点検をぜひお願いしてもらって下さい。

来年のリフォームの傾向は?



いよいよ来年の十月から消費税が10%になる予定です。また、「二〇数年行なわれていた「リフォーム補助金制度」はとうも来年は廃止される模様です。そして、平成の始めに新築した家も三十年の歳月がたちますので、あちこち傷んできています。

このような点からキッチン・浴室・トイレなどの水廻りを含む、ある程度の規模のリフォームをされるお客様が増えてきます。政府がどの程度の軽減措置をしていくのか不明ですが、計画のある方は早めに準備した方がいいです。

オヤジ日記

ギックリ・膝?

オヤジの家は一階に事務所があるので、水廻りは二階にあります。



先月末の夜、机の上の仕事が終わってお風呂に入り、いい調子で階段を下りてきた途中で、右膝が「バキッ」と音がしました。あ、やつてもうたです。まともに歩けなくなり、膝は倍位に腫れてしまいました。取りあえず整形外科病院に行くと「加齢と太りすぎですね」ときらりと言われてしまいました。痛み止めの薬は昔ひどい目にあっているの、現在はT整形外科のY先生に施術をしてもらっています。おかげ様でだいぶ良くなりました。加齢と太めの方は「注意を」。

当店のお客様をご紹介いたします

- 山武市O様
内部フルリフォーム
工事費▼五百万円
- 大網白里市L様
塗替・水廻り
工事費▼三百五十万円
- 東金市S様
塗替
工事費▼七十万円



ありがとうございました

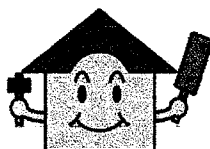
メンテナンス・リフォーム・増改築・新築
お住まいに関する事でしたらどのような事でも
お気軽にご相談してください

ご相談・見積は無料です

メールお待ちしております
yuyuoyaji@docomo.ne.jp

ホームページも見てください

<http://shimadajuuken.web.fc2.com/>



おかげさまで地元で34年

わくわくりフォームショップ

(株) 住まい工房 嶋田住建

建設業許可 千葉県知事登録(般-27)第50159号
特定非営利活動法人 住まいの構造改革推進協会正会員2-0305号

東金市油井188-61(ニュータウン丘の街内)

0120-910-720

TEL:0475-52-4037

営業時間:8:00~22:00